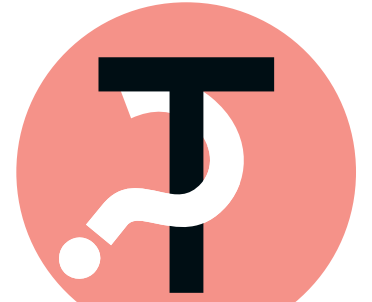


羽曳野キャンパス

大阪府立大学には中百舌鳥・羽曳野・りんくうに3つのキャンパスがあることは、皆さんご存知ですね？
今回はその中でも羽曳野キャンパスについて取り上げます！
「大学のキャンパスがどんなところなのか、はっきり分からない」と悩んでいる受験生、「なかなか行く機会がなく、よく知らない」と感じている中百舌鳥やりんくうの府大生の皆さんに、羽曳野キャンパスについて知ってもらいたい！
そして、羽曳野の府大生の皆さんには普段通っているキャンパスの魅力を再発見してもらいたい！ということで、取材に行ってきました！



MICHI?TAKE!
未知を知って「満ちていく」あなたの世界

2019.02
09

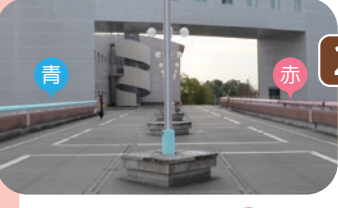
あなたの知らない世界を届けたい。
未知を知ること、あなたは満ちていく。
未だ知らない世界がきっとここに。
You can always take MICHI.



羽曳野キャンパス 学生の おもしろポイント

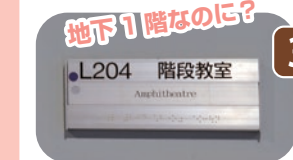
1 まーい図書館!?

図書館のあるN棟は円柱状になっています。中心部には吹き抜けがあり、休憩できるスペースがあります。



2 渡り廊下の手すりに隠されたヒミツ!

廊下にある手すりの色は左右で赤色、青色と分かれています。実は赤が動脈、青が静脈を表しているそうです。



3 教室番号のナゾ...

3××教室(301や302など)が1階に、4××教室(401や402など)が2階にあります。春は新入生が迷ってしまうことも多いとか。

4 建物がすべて繋がっている!

雨の日の移動っていちいち傘を差さないといけないし、面倒くさいですね...でも大丈夫!羽曳野キャンパスなら建物がすべて繋がっているの、雨の日でも濡れずに移動できます。



5 休憩できる場所がいっぱい!

廊下にはソファが多くあり、実習で疲れた学生が休憩をしています。たまに寝ている人も!



6 季節を感じられる通学路!

バス停から正門までの道には、春に桜のトンネルが、秋にはイチョウの並木道ができます!桜が散った後の毛虫、銀杏の実の独特のニオイもまた一興...



7 カメと一緒に通学!?

大学近くのバス停から正門までの道は、たま〜に「カメ」がのんびりと歩いていることがあるそうです。見つけれたらラッキーかも!

8 通学あるある!

遅刻しそうな時に急いでいると、同じように急いでいる学生がいて安心!と思いきや、近くにある四天王寺大学の学生とわかり、再び焦る羽目になります。

羽曳野キャンパスでは地域保健学域 看護学類と総合リハビリテーション学類 理学療法学専攻・作業療法学専攻・栄養療法学専攻の学生が学んでいます。



看護学類 実技について学ぶ実習室です。この日は注射の実技の練習です。



総合リハビリテーション学類 理学療法学専攻 運動量を測定し、分析するための実験室です。



総合リハビリテーション学類 作業療法学専攻 遊具を使って体の動かし方を練習したり、体の感覚を刺激する方法を学ぶ実習室です。



総合リハビリテーション学類 栄養療法学専攻 さまざまな化学物質について学ぶ実験室です。

職員さんにインタビュー!



職員: 宮下さん

今回、羽曳野キャンパスの特集ということで職員の菊田美月さん、宮下裕子さんにお話を伺いました。

— 羽曳野キャンパスの魅力を教えてください!

学生や学生と先生のつながりが深く、アットホームな雰囲気が魅力です。10月には杏樹祭があり、毎年和気あいあいとした雰囲気で盛り上がります。また、羽曳野キャンパスの図書館は、看護学類・総合リハビリテーション学類の学生向けに医療系の図書が充実しているのが特徴です。バス停からキャンパスまでの通学路は自然豊かで、春は桜、秋はイチョウが見物です。

— 在学生へメッセージをお願いします!

学生目線の生の意見はとても貴重で、皆さんのお話を聞ける機会があると、いつも有難いと感じます。学生の皆さんの意見を取り入れつつ、より良いキャンパスを目指していきますので、いろんな声を聞かせてください。

— 最後に受験生へのメッセージをお願いします!

オープンキャンパスや授業体験などに来て頂いて、府大に魅力を感じてもらえたら嬉しいです。受験お待ちしております!春から楽しいキャンパスライフを!



取材: 森岡 りな

勉強だけが学びじゃない！
わたしたちの課外活動

（所属・学年は取材当時）

講義や実験だけが大学での学びではありません。
色々な課外活動を通して、さらなる学びを得ている学生たちを紹介します!!
あなたも府大で何か面白いことを始めてみませんか？

ボッチャ部

どんな活動をしていますか？
羽曳野キャンパスの体育館で練習を行っています。また練習だけでなく、外部から依頼されて試合の審判をしたり、地域のボッチャ体験会に参加させてもらい、ボッチャの普及活動をしたりもしています。

ここが面白い！
ボッチャは一見簡単そうに見えますが、実際にやってみると実はかなりの頭脳戦です。作戦通りにバシッと決まった時は最高で、僕自身もこの面白さにどんどんのめり込んでいきました。さらにボッチャは体に負荷が全然かからないので、障がいの有無にかかわらず誰もが夢中になって、小さな子どもからお年寄りまで楽しめるのが魅力です。



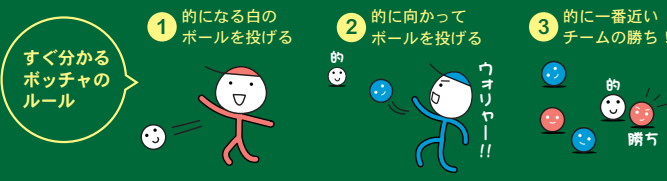
詳しくは
Webマガジン
ミチテイク・プラスで！

ひとこと
ボッチャはまだあまり知られていないし、マイナースポーツではありますが、実際にやってみれば楽しいと感じてもらえるという自信があります。まずはボッチャという言葉を知ってもらって、みなさんに楽しんでもらいたいです。



村上隼さん
地域保健学域
総合リハビリテーション学類
理学療法専攻2年
取材：園廣美桜

ボッチャとは？
ボッチャは、障がい者スポーツのひとつで、脳性麻痺などにより運動能力に障がいがある競技者向けにヨーロッパで考案されたスポーツです。2チームに分かれてボールを投げたり転がしたりしてのとなる白いボールに近づけていく競技で、ルールはカーリングに似ています。カーリングではストーンと呼ばれる石を床に描かれた円の中心に近づけることで得点を競いますが、ボッチャでは円の代わりに白のボールを的として使います。2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるということもあり、近年盛り上がってきています。



大阪府立大学交響楽団

どんな活動をしていますか？
オーケストラの練習をし、定期的に演奏会を行っています。6月と12月に定期演奏会をするので、そこに向けて曜日ごとに各パートの練習や合奏を行います。

ここが面白い！
何よりも、音楽を全力でできるということがとても楽しいです。学生が指揮者をやっているのので、自発的に音楽をつくって演奏できます。また、管楽器と弦楽器が混ざり合うことで生まれるオーケストラ特有のハーモニーが一番の魅力です。



小林陽介さん
工学域
機械系学類2年
山本裕貴さん
工学域
物質化学系学類2年
合川王喜さん
地域保健学域
教育福祉学類3年

ひとこと
大学生のうちに自分の世界観を広げておくこと楽しいし、将来にも繋がると思っています。高校でやっていたことを続けるのも良いですが、バイトやサークル、ボランティアなど、何か一つ新しいことを始めると視野が広がりますよ。



詳しくは
Webマガジン
ミチテイク・プラスで！

企画運営会

どんな活動をしていますか？
主に「大学生お笑いコンテスト」という、他大学も巻き込んだお笑いコンテストの企画・運営を行っています。コンテストの構成から広報・投票システムの構築まで自分たちで行っています。今後はお笑いコンテストだけでなく、違う企画にも挑戦したいと考えています。

ここが面白い！
こうすれば面白いんじゃないかということを一人数人が考えて、議論し合えるのがこの団体の魅力です。メンバーは個性的な人が多くて、刺激をたくさん受けることができます。また、今までにない新しい企画を開催することができることも大きな魅力です。



尾花英之さん
工学域
電気電子系学類3年
赤井亮太さん
工学域
電気電子系学類3年
三角聡さん
京都大学工学部
地球工学科1年

ひとこと
大学は高校よりも社会に近いところで大きいことができるし、そのために仲間を集められる場所だと思います。何か新しいことがしたいと思ったときに、一人では到底できないようなことでも、それを形にできる人は周りにいます。自分から周りを巻き込んでいくというのが大事だと思います。



詳しくは
Webマガジン
ミチテイク・プラスで！

S.M.I. シングルマザー イニシアティブ



どんな活動をしていますか？
私たちは「豊かな人生を目指すシングルマザーの夢実現サポーター」として、シングルマザーの貧困という課題の解決に挑戦しています。看護学校受験合格や高卒認定取得を目指すシングルマザーの学習支援で、豊かな生活へのサポートをします。また、子ども食堂で料理体験企画なども行います。

ここが面白い！
1つ目は、大きなやりがいを感じられることです。同世代の方への学習支援を通して、毎日を必死に生活しながら限られた時間で勉強をするという背景を傍でリアルに感じながら、「できない」が「できる」になる瞬間の感動は言葉に表せません。



中村友哉さん
理学系研究科物理科学専攻
博士前期課程2年

ひとこと
大学生活は今までは全く違う生活になり、その一つ一つが将来につながると思います。継続は力なりという言葉もあるように、新しいことにチャレンジしながらも一つ二つ長く携わる活動をする、価値ある大学生活になりますよ！

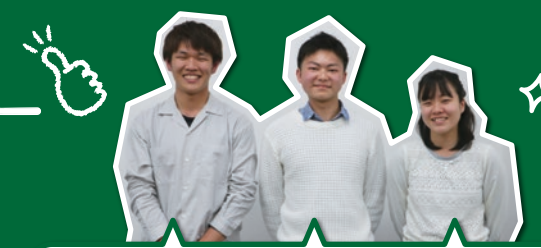
詳しくは
Webマガジン
ミチテイク・プラスで！

出発サポートプログラム



どんな活動をしていますか？
出発サポートプログラムとは、大阪府立大学生協が行っている主に新入生向けのキャリア形成支援プログラムです。新入生がなりたい自分に成長して自信を持って社会に出て行けるように、学生の先輩サポーターが中心になって一年間サポートしていきます。大学の授業では学べない考え方やスキルについて学んだり、普段の生活での考えや悩み事までなんでも話します。

ここが面白い！
プログラムを通して、自分について考える時間を多く取っているということもあり、自分の好きなことが分かり、自分のやりたいことに素直になれるようになります。また、外部のサークルと協力したり、普段の生活の中だけでは出会えない人と繋がるできるので、輪が広がります。



小松寛さん
現代システム科学域
マネジメント学類3年
上村流瑠さん
工学域
電気電子系学類3年
成木春菜さん
生命環境科学域
応用生命科学類3年

ひとこと
大学は高校と違って、困ったときに助けてくれる先輩に出会えないことも多くあります。でも府大内にはチャンスを活用できる場がいっぱいあるので、それを積極的に生かしてほしいです。そして周囲に意見や不安などを伝えて、自分をさらけ出してってもらいたいと思います。

詳しくは
Webマガジン
ミチテイク・プラスで！



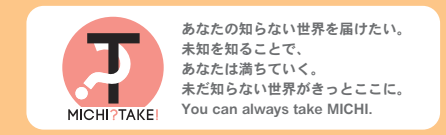
編集「MICHITAKERS」



スタッフ募集 @Recruter_Michitake
【MICHITAKERS新メンバー募集中！】
この広報誌ミチテイクを作る学生広報サークル「Michi Take」では、学生の編集メンバー「MICHITAKERS」を通年で募集しています。
★府大の良さをもっとたくさんの人に知ってもらいたい！
★広報誌づくりに興味がある！
★府大にゆかりのあるあんな人やこんな人に話を聞きに行きたい！
と思った方は michitake.opu@gmail.com または、twitterのDM・facebookのメッセージまでご連絡ください。MICHITAKERS一同、いつでもお待ちしております。

編集後記 @editorial_note
私は、ミチテイクのメンバーになってからまだ日が浅く、今回記事となったこの羽曳野特集が初めての取材でした。初めて羽曳野キャンパスを訪れた際、とても魅力を感じ、職員さんに取材をする施設に様々な工夫が施されていることが分かりました。中百舌鳥キャンパスで授業を受けている私は、羽曳野キャンパスのことを全然知らなかったのですが、この記事を通して在学、受験生ともに関心を持つ方が増えると嬉しく思います。看護、総合リハビリテーションに興味がある方は、ぜひ大阪府立大学のWebサイト等チェックしてみてください。
MICHITAKERS：森岡 りな
(工学域 物質化学系学類 化学工学課程)

「Michi Take(ミチテイク)」は、「学生だからこそ見える景色を伝えたい」そして大学が持つ大きな価値である「さまざまな知的な出会い、さまざまな未知(michi)を知るきっかけを受験生や大学生のみなさんに届けたい」と願う有志現役学生と府大広報課が連携し2013年に創刊された、府大の魅力を学生視点でお届けする学生誌です。



誌面の詳しい情報はWebでも公開中です！



大阪府立大学 学生広報誌
「Michi Take(ミチテイク)」第9号 2019年2月発行
編集協力：株式会社フルハウス・イグゼ
【発行・お問い合わせ先】
大阪府立大学 理事長室広報課
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
TEL. 072-254-9103 (ダイヤルイン)
Mail. koho@osakafu-u.ac.jp

